

6月は土砂災害防止月間

土砂災害を知って災害から身を守ろう

雨が多くなるこの時期は、全国で土砂災害が多発します。災害から身を守るために、災害についての知識を深め、避難経路や備蓄品などの確認をしておきましょう。

危険な場所を確認

土砂災害の危険がある場所は、土砂災害危険箇所や土砂災害警戒区域などに指定されています。自分の家や周辺が、土砂災害の

危険があるか確認しておきましょう。

大雨により土砂災害発生危険度が高まったときに、市町村長が避難勧告などを発令する際の判断や、住民の自主避難の参考となるよう、県と銚子地方気象台が共同で発表する防災情報

土砂災害警戒情報に注意

土砂災害警戒情報は市町村単位で発表され、報道機関や防災行政無線などを通じて皆さんに伝えられます。

土砂災害警戒情報は市町村単位で発表され、報道機関や防災行政無線などを通じて皆さんに伝えられます。

安全な場所に早めの避難を

土砂災害警戒情報が発表されたら、早めに安全な場所へ避難しましょう。どうしても避難が難しい場合は、崖から一番遠い場所や家の2階など、より安全な場所に移動しましょう。防災

土砂災害危険箇所など

県内の土砂災害危険箇所などを、ちば情報マップ内の防災情報で確認できます。



土砂災害ハザードマップ

市内の土砂災害警戒区域や特別警戒区域などのほか、これから区域に指定される予定の場所も確認できます。



防災行政無線の戸別受信機を貸し出します

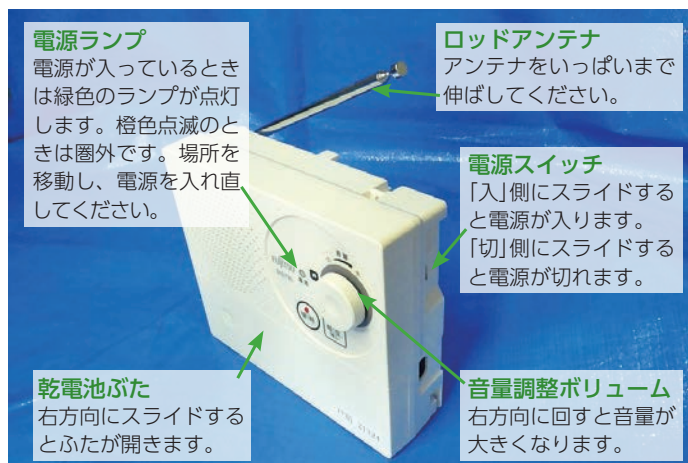
防災情報などを知らせる手段として、希望者に戸別受信機を貸し出しています。対象は市内に在住している人で、1世帯につき1台を無償で貸し出します。希望する人は問い合わせてください。

故障かなと思ったら

無線が聞こえにくい／●アンテナをいっぱい伸ばす ●大きな窓の近くや、家電製品から離れた場所に設置場所を変える ●右側面にある電源スイッチをいったん切ってから再度入れる

戸別受信機から電池の容量がなくなった場合／●乾電池ぶたを開け、アルカリの単1電池2本を交換する ●電源スイッチをいったん切ってから再度入れる

※上記の対応を行っても聞こえにくい場合は、総務課に問い合わせてください。



情報や避難所開設情報、避難勧告などを防災行政無線で伝えま

次のような現象があった場合は、土砂災害が直後に起こる可能性があります。すぐに安全な場所へ避難し、市役所に通報し

前兆現象に注意

すので、情報に注意しましょう。

- てください。
- 斜面にひび割れができる
 - 小石がパラパラ落ちてくる
 - 斜面から水が湧き出る
 - 井戸の水が濁る
 - 地鳴りがする
- ※ 1時間に20mm以上、または降り始めから100mm以上の降雨量があると注意が必要です。

問い合わせ先

総務課地域安全班

☎ 62・5311